

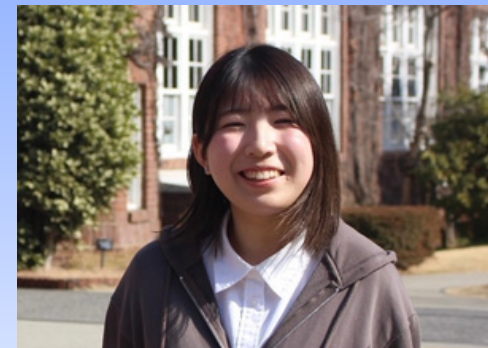


放送研究会の今をお届け！

新体制が始動！



前会長・三宅慶



会長・永田千依



71期引退

71期の先輩方が、このたび放送研究会を引退されました。節目となるこの機会に、前会長と現会長からコメントをいただきました。

前会長・三宅慶コメント↓

最も印象に残っているのは、400人を超える会員の力を、継続的に発揮できるよう制度設計に取り組んだことです。現在の放研は、アナウンス部と技術部に加え、企画・脚本から作品を生み出す制作局が発足し、いわゆる「クリエイティブ」な部分を組織的に育む体制が整いつつあります。あわせてOBOG会との連携強化を目的に、オープンチャットの開設や会報誌「RBC便り」の企画を進め、現役の活動をお伝えするとともに、OBOGの皆さまからも助言・ご支援をいただける関係づくりを目指して奔走いたしました。ご寄付や各種ご協力をお寄せくださる皆さまをはじめ、放研を温かく見守っていただいているOBOGの方々に、この場をお借りして心より御礼申し上げます。多くの仲間と泣き笑い支えられた三年間であり、初代制作局長はじめ、共に動いてくれた役員の方々へ深く感謝しています。

会長・永田千依コメント↓

71期の先輩方は後輩である私たちに居場所を与えてくれて、進むべき方向とその進み方を教えてくださいました。もちろん尊敬できる部分だけでなく尊敬できない部分もありますが、そこもひっくるめて先輩方が大好きです！これからは71期の先輩方が作ってくれた放送研究会を守りつつ、新しいことに沢山挑戦していきたいです！！今年の目標は外に強い放研です！YouTubeなどで認知を広めつつ立教大学放送研究会の存在を世界に知って欲しいと思っています！



クリスマスパーティー全体写真



P・板橋隆佑(右) D・田尻宗也(左)



企画班 映像作品



???班 映像作品



クリスマスパーティー



12月13日にクリスマスパーティーが行われました。この番発は73期だけで作り上げるはじめての番発です。タイトルは『LA・LA・LA・LIE 真実は、偽装パーティーで。』。世間を騒がせる数々の事件の裏には、天才詐欺師・古賀が率いる3人組の詐欺師グループの存在がありました。彼女たちが次に狙ったのは、最近71億円が盗まれたとされている聖夜大学。盗まれた資金の行方を追う中で、大学が抱える闇が明らかになっていきます。詐欺師でありながらどこか抜けている、愉快的3人組が大学の闇を暴いていく本作は、ミステリーでありながらコメディ要素もある、非常に魅力的なストーリーとなりました。

プロデューサー 板橋隆佑 コメント↓

今年のクリパは「同期が仲良くなること」に重点を置いて開催しました。初の同期発かつ他とは異なり映像作品が半分を占めるクリパでは、班幹部を主体により良い作品より楽しんでもらえる作品を作ろうと73期が一体となって制作しました。その結果73期のレベルが数段階上がり、先輩達から嬉しいお言葉をたくさんいただくこともできました。クリパを通じて放送研究会を、そして同期をより好きになりました。これからも素敵な仲間達と共に活動を行えることを嬉しく思います。

ディレクター 田尻宗也 コメント↓

クリパは、私たちにとって初めての同期番発ということもあり、大きな不安を抱えながらのスタートでした。しかし、73期の仲間や72期の先輩方からたくさんアドバイスをいただき、無事に成功させることができました。開催前よりも、同期同士の心の壁が低くなり、より絆が深まったのではないかと感じています。みんなが楽しそうに参加してくれたことが何より嬉しく、非常にやりがいのある番組発表会でした！

この番発は71期の追い出しコンパも兼ねていたため、73期はビンゴ班・企画班・???班に分かれて71期出演の映像制作を行いました。ビンゴ班では計42本に及ぶ様々なショートムービーを制作し、企画班ではテレビ番組『水曜日のダウンタウン』のドッキリシリーズの一つである「名探偵津田」をモチーフにした作品をつくりました。???班では放送研究会の活動や日常を描いたヒューマンドラマを制作しました。初めての同期番発でクオリティの高い作品を協力して作り上げたことで、番発前と比べて73期の絆をより一層深めることができました。



P・玉川満喜(左) D・小林平実



演技・勇者アキムネとその仲間たち



新年番組発表会

1月17日に新年番組発表会が行われました。今回の番発のタイトルは「勇者アキムネと総理の娘」。荒廃した世界の運命に立ち向かう主人公が、旅の中で数多くの人物と出会い、仲間との信頼や愛を力に世界を救う冒険へ挑む物語です。ポップでコミカルな展開で観客を笑いの渦に巻き込みました。最近導入されたタリーランプを活用した企画や、SPFの芸能人企画を模した企画など、面白くて新鮮な取り組みも盛り込み、にぎやかな新年の幕開けとなりました。

プロデューサー玉川満喜コメント↓

今回の番発では、「新しいことへの挑戦」と「映像作品の推進」を掲げ、会員に映像制作の魅力を伝えることを目標としました。慣れない役職や短いリハ期間という厳しい中での挑戦は大きな壁でしたが、予期せぬトラブルがあっても、自ら改良を重ね、最後まで共に歩んでくれたメンバーには感謝の気持ちが溢れています。今回の取り組みが今後の番発の新たな「基準」となり、さらなる発展の糧となることを願っています。

ディレクター小林平実コメント↓

新年発Dを努めさせて頂きました、小林平実です！新年発は3日しかリハがないという過密スケジュールであり、しかも音響しか経験のない私がディレクターということでもかなり不安でしたが前列及びリハ職全員の協力の元無事終わることが出来ました！課題はたくさんあったと思いますが、こんな私でもDが出来たのでぜひ後輩達には今後チャレンジしてほしいです 準備期間含め新年発とても楽しかったです。ありがとうございました！



春合宿全体写真



春合宿

2月9日から2月11日にかけて、春合宿が行われました。場所は千葉県にある「青松庭 白砂」。前年度とは異なる合宿先での開催となりましたが、運動会やダンス発表会、各担当によるレクリエーションなどで大きな盛り上がりを見せました。この二泊三日を通して放研会員同士の中がより深まったと感じられるような合宿となりました。



運動会の様子

ダンス発表会の開催

テーマに対して最もふさわしい人を投票で決め、その映像を制作するダンスの発表会が行われました。本合宿から73期も選出・制作の対象となり、個性豊かな作品からクオリティの高い作品まで数多くの映像が上映され、放研会員の個性や技術力のあらわれた発表会となりました。

運動会について

合宿二日目に運動会を行いました。赤・青・黄・緑の四チームに分かれ、クイズ大会やドッチボール、障害物シャトルランに代表者リレーなどで競いました。普段は見れない一面や、団結力などが垣間見える運動会となりました。

お問い合わせ

ご不明点やご相談等がございましたら、下記よりお気軽にご連絡ください。

メールアドレス：rbcob2026@gmail.com

今後の活動予定

- ・4月3日（金）対面新入生歓迎会
- ・4月8日（水）対面新入生歓迎会
- ・4月17日（金）制作局による新入生歓迎会
- ・5月16日（土）新入生歓迎番組発表会
- ・5月23日（土）制作局による新入生歓迎会
- ・6月13日（土）前期番組発表会

※日程は変更になる場合があるので、各SNSをご覧ください。

Instagram : https://www.instagram.com/rikkyo_houken/
X : https://x.com/rikkyo_rbc?s=21

活動について

私たち立教大学放送研究会は、70年以上の歴史を持つ伝統あるサークルとして、毎年11月の学園祭においてステージイベントの企画・制作・運営を行っております。

近年では、芸能人ゲストを招いた企画や、大規模な映像・音響演出など、ステージのクオリティ向上に向けた取り組みを続けております。

しかしながら、物価の高騰や機材費の上昇により、運営費の確保が大きな課題となっております。現役生一同、限られた予算の中で最大限の工夫を重ねておりますが、より良いステージを実現するためには、さらなる支援が必要な状況です。

ご支援のお願い

ご挨拶・御礼

平素より立教大学放送研究会の活動に多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、OB・OGの皆様とのつながりをより一層深めるとともに、現役生の活動を広く知っていただくため、今年度も会報誌を作成いたしました。

ご支援の方法

ご寄付：一口2,000円より承っております

ご寄付に際しまして、銀行振込によるご入金を正しく確認させていただくため、下記フォームより寄付金額および寄付者様情報のご申告をお願いしております。どうかお力添えいただけると幸いです。

<https://forms.gle/EZsb4h7Ch4b5PDF8A>

ご支援の用途

いただいたご厚意は、以下の活動資金として活用させていただきます。

- ・映像、音響、照明機材のレンタル費用
- ・ステージで放映する映像の制作費
- ・衣装、大道具、小道具の購入や製作費

返礼について

ご支援いただいた皆様には、感謝の気持ちを込めまして、学園祭ステージへご招待いたします。ぜひ当日ご来場いただき、学生たちの張れの舞台をご覧いただければ幸いです。

【最後に】

放送研究会の活動は、OB・OGの皆様が築いてくださった歴史の延長線上にあります。現役一同、伝統を守りながらも新たな挑戦を重ねていくため、どうか温かいご支援を賜れますと幸いです。